


ヒプロセラピンを受ける前は、緊張や不安があったのですが、
実際受けてみると心地良い気持ちになっただけ、これから
明るく前向きに生きていこうという気持ちになれました。
過去の記憶に戻った時に受け入れられるのが^{不安}等思いまし
たが、ちゃんと受け入れられる事が出来、そして自分自身が
変わったんだと実感出来たのが自分でも驚きました。
時間もあ、という間に過ぎていき今日感じた事をこれから忘
れず自分の人生を歩んでいきたいと思えたので、先生に
感謝しています。






受けはじめて、だんだん頭の中に浮かぶイメージが鮮明になっていくのを感じた。人物が変わる度にその人が私の体を使って話しているようにさえ感じた。昔から繰り返して夢見ている空襲の光景になる迄の少年の姿を初めて見た。やせっぽろだが骨太い丈夫そうな体をした男の子だった。いつも苦しんでいる所しか見たことがなかった。彼にも確かに幸せだった時期もあったのだと気付くと、気持ち少し軽くなる。

あまりにもはっきりと見えて、それが本当なのか、私が創りだした人物なのかは分からないが、私の心の中には確かに存在する部分であることはなんとなくのみこめた。

母に対して寂しいという気持ちをこれほど感じていたのかと驚きもあったし、隠していた自責も少しする様になった。





私はさみしかった。自分が自分を認めていながら、
た

自立の人にあこがれがあるか。自分は地味な方。それでい
ふりをして苦しい思いをするよりも、ありのままの自分で
いた方がよほど幸せ。

人をうたかうよりもまず信じよう。大切にしてくれらる人を
大切にしよう。

向こうから話をしたいと思うまで待つ。

相手を好きだ、という気持ちも大切にしよう。

彼の気持ち、うたかたはいいけれど

好きなの、
大切にありか、どう。

向こうの気持ちをほめてあげたい。

落ちこみ、自分と相手を信じる。

みんなに好きになってもうねる、不安な、
た、自分を大切にしてくれらる人だけがいい。

愛情をみえる形で伝える。ゆかりがすく





やはり そうだったんだ! と

スッキリした心持ちになりました。

右胸にっかえていた重い物が
涙と共にスーッと抜けていく感覚
が生々しく身体に残っています。

セラピーを受けている間は脳が右に
左にピリピリと電気信号を忙しく送
り合って何かをつなぎ合わせる作業
に集中していて時間や空間を感じる
暇もない程で、体の感覚が無いよ
うな感じでしたが、終わるとしっとりと
汗をかいていました。

普段の生活から離れてしっかりと
自分自身と向き合える時間を持つ
ことができ、感謝しています。

優しくおたやから 竹元さんのお声
で安心してセラピーを受けることが
できました。





最近自分が何をしたいのか、何を思っているのかが、よく分からないうちに、
セラーを履す、自分がどれだけ沢山思ったり
考えたりしているのかが出来る。自分の考えに
蓋をしていたのだと感じました。今まで、思ってた以上に
耐えてたという事も分かった。
今まで、自分のことに向き合うのが嫌というか、怖い所も
あったのだ、そのままに暮らしていた。社会人になって壁に
ぶつかって、それも言えなくなり、このセラーで向き合うこと
になった。でも、逆に良いチャンスだった、良い体験だった
と、今は感じている。潜在的な自分が言ったように
暮らしてみようと思います。潜在的な所まで引き出して
もらってありがとうございました。言方に気をつけながら
素直に、頑張りすぎず、頑張ります。



ヒーパセラピーは以前から興味を持っていた。
今日、体験することで自分の本心が何か、自分が
どうしたい、どうしてほしいか、たのかが不思議と
たくさん出てきました。

なんとなく、自分に足りないものには気づいて
いましたが、改めて知ることで、すぐくの荷が軽く
なり、スッキリしました。

子供にどう接していくのか悩んでいましたが、
その答えもハッキリ分かったので、これから今日の
気づきをしっかりと頭の中に置いて関係を築いて
いきたいと思っています。

60代女性

H23.3

こんにちは

先日はお忙しい中私の為に時間をくださり、誠にありがとうございました。

ちょっとした私の話のヒントから話を進めてくださり、とってもありがたかったです。

胸の内を全部聞いて頂いて心が軽くなりとっても幸福な気分になりました。

心が癒されましたよ。

一番に思った事、私には情熱的な気持ちがありません、降り注ぐ心・心・心が足りなかったのかな・・・。

心が燃えるような事も少なく過ごしてきたのかとも。毎日の生活に追われ、現実的な事ばかりに気を取られていたんだと思いました。

これからは、自分を愛し、自分の趣味、ボランティア、感謝の気持ちをもって、前向きに心明るく元気にイキイキと過ごせる様に努力していきたく思っています。

心癒される時間をくださり感謝しています。

本当にありがとうございました。

人間関係においての“つまずき”を改善したく、ヒプノセラピー退行療法を受けました。

恵美さんの自然な誘導により、私の小学生時代に戻り、辛い出来事がよみがえりました。

自分では、普段は気がついていませんでしたが、40代になり、近年起こった人間関係においての不快感な出来事が、この小学生の頃の体験に根本的にも類似していることがわかりました。恵美さんによれば、これは潜在下の私の意識がこの2つの出来事を結び付けたとのこと。

この体験を、大人になった私が客観的に見つめることにより、それをどう受け止めると良いのか。どのように解決できるのか。同じことが起こったらどう対処すれば良いのか。など、自分なりに噛み砕いて理解することができました。

私は必要に、自分を責めすぎていることに気が付き、「あー、私は自分を締め付けて長い間損してきたなあ……。そんなに悩む必要はなかったんだ」と、思った時、すっとふっきれてとても気持ちが楽になりました。

このセラピーにより、この先人間関係において、同じような事態になりそうな時、そうならないよう回避できるよう、客観的に見て対処しチャレンジする勇気が湧いてきました。

新しく見出した心の持ち方を大切にしていこうと思います。

恵美さん、ありがとうございました。次回のセラピーを楽しみにしております。

40代女性

先ず流れの説明を受け、私自身の事をお話した後本日のテーマを決めました。
横になってからは、とてもスムーズで"緩やかに流れる音楽と、波動と融和したかの
様なemiさんの声により一層、心地良さを増してくれました。

私の場合、問われると同時に映像が浮かびました。そして、マイナスな感情は
一切ないのに涙がスーッと流れるのです。序盤から既に癒されているのを自覚
しながらスルスルと進んでいきました。

見えた情景、出会った人々、その人生全てが私の理想とも言えるもので、終える
その日まで"感謝と喜びの詰まった時間を体感する内にスーッと流れていた涙は、
ハラハラと溢れる様になっていました。かつて、この様な素晴らしい人生を送って
いた事に誇りと感謝を覚えました。

時々、物事を中断させてしまうような思考癖をサラリと流してくれたのはあの中で
見た碧い碧い空でした。

最後にマスターから授かった言葉も今の私には、大事なものでした。

emiさんは、その存在が癒しの様な方ですので初めてのヒーパ/セラピーが
emiさんで"心から良かったと思います。本当にありがとうございました。

今日、はじめてヒプノセラピーというものを受けてみました。
実施して下さったのはクリニックにヘルプで入ってくれているナースのTさん
Tさんのガイドに沿って、目を閉じたまま潜在意識へと潜ってゆきます。
私が受けたのは前世を回想するコース、さてその回想で湧き上がってきた物語を
簡単にまとめています。
最初に現れた光の色はグリーン、最初は木漏れ日のようなグリーンの光、最初は
森の中のようでした。そしてその光に頭から足まで順に包まれてゆくイメージを
重ねてゆくとそれは海の色のグリーンであることがわかってきました。
ユラユラとゆれる海面から差し込む光、私は海底で上を向いて寝そべりゆらめく
柔らかなグリーンを浴びていました。全く息苦しくありません、心地よい
穏やかな気持ちでした。(このシーンが実は後で結末に出てくることに。。。)

意識の層を一段おりて見た景色は、向こうの方に丘のある草原でした。
丘の上には木造の小屋のようなお家が二軒、程よい距離を空けて並んで立っ
ています。空は晴れ渡り、二つの丸い雲がぽっかり浮かんでいます。空気は爽やかで
丘へ続く草原にはオレンジと赤の入り混じる花が無数に咲き誇り、風にざ〜っ
となびきながら波打っていました。(風速6m/s位〜(^^♥))

そこから花を一つ摘み右手で握り感触を確かめたあと、それをもとへ戻し、
その草原を流れる小川のイメージ、そしてそこから、手順を忘れてしま
いましたが意識をさらに遡り、今日のメインテーマである、なぜ、私は今現在の
ような創造の作業を繰り返し探究を続けているのか、ということを探り下げに
入りました。さらに潜在意識の階段を降りてゆきます。
それは木の階段で、でこぼこした中等度の傾斜のある階段です。

10段降りると、そう、その核心のテーマを握る、前世の私が居ます。

最後の段を降りると、そこは乾燥した土の大地でした。
服装は7部丈の綿のズボンと半袖のシャツにボタンのないチョッキそして頭には
ターバンのようなものを巻いています。最初に浮かんだのは3歳くらいの男の子
ですが、服装を思い起こすうちに10歳代の前世の私、そして60歳代の太った
髭ずらの私が出てきます。名前はジェロ、というような名前でした。
その地域は中近東のあたりのようで10〜11世紀ごろ？大昔です。

家は土の家で、ま〜るい土壁の家にとんがった屋根がついているスタイル、
玄関にドアはなくカーテンのような布がぶら下がっているだけ、家族は
おじいさん、両親、兄、姉、そして私(3歳)で屈託なく明るい性格の人たちでした。
なんの悩みもなく楽しく暮らしています。お父さんは日帰りできるくらいの距離を
馬車を引いて行商をしています。お母さんは明るくてとても優しい美人です。
お兄さんはちょっと気難し気な少し憂いのある感じ、お姉さんは頬がほんのり
赤い笑顔のお姉さんでした。

私は家の外の地面にいつも小枝で何かを描いています。3歳なので、たいしたもの
は描けないのですが、いつも十字のような記しを繰り返しは描き、それにバリエ
ーションがどんどん増えてゆく感じでした。家族のものはそんな私の行為に全く
気をとめることもなく『お絵描きが好きね〜』という感じでした。唯一お兄さん
だけは、その描いているものに何かを感じているのが、気味悪がるような
理解不可能なような感じであり、あまり良いようには思っていませんでした。

さて、そこから私は次の大きな出来事に遭遇する場面まで瞬間移動します。
場面は巨大な崖が立ち並ぶその崖の下に立っているところです。そこには無数の
縦長の洞穴のようなものがあり、高さは10m以上に達するものもあり、その中へ
立ち入って探検する私が居ました。年齢は16歳くらい？
なぜ、ここにこんな不思議な空間があるのが探検心一杯でたった一人でドンドン
奥へ入って行きます。そして、ある壁に突き当たり壁に手を当てるとその壁は
もろく、簡単に指で剥がれおちてゆく、手で掘ってゆくと見る見る穴は大きくなり、
その向こうに巨大な暗黒の空間が立ち現われたのです。
勇気を持ってそこへ入ってゆく、暗さに目が慣れてくるとそこは古代の遺跡であり、
階段状になった円形の劇場のような広間であることがわかってきました。

そこまで来て、私は次の大きな出来事への瞬間移動をします。次に出てきたのは
その後の60歳代の私でした。醜く太ったお腹に口髭を蓄え、幸せそうにリクライ
ニングされたベッドに横になり、お付きの女性のような人がおおきなうちわで私を
あおいでいます。その他にもお付きの女性たちがいて何の不自由もなく満足げに
暮らしていました。その場所はあの遺跡を発見した崖の頂上の斜面で階段状に
削り取った広場に豪華邸を築き半分は岩の中にまで無数の部屋が掘られた空間に
設けられているというロケーションです。
私は大成功していました。この上ない満足、そしてその崖のしたの遺跡のホールや
その周囲は様々な催しやお店で賑わい一大観光地となっていたのです。
私はその遺跡の発見者であり所有者でありその地域の長でした。。。なんと
成功でしょう。。。しかし、あとでわかってきますが私はこの時点でアウトだった
のです。大きく道を踏み外していました。。。)

そして、その私が人生の最期を迎えるシーンへ飛びます。
東方から急激に勢力を伸ばしてきた騎馬民族、チンギスハーンの軍隊がある日
突然押し寄せてきたのです。私だけが捉えられあとのものはみな捕虜や奴隷や
雇われ人となりました。私は崖の端の四角い大きな穴のあるところに連れて
行かれ四肢を縛られたあげく半月以上もその四角い穴の上に吊るされました。
四角い穴を覆うように上を向いた状態で私の千物でも作るかのように手足を
引き裂かれた状態で放置されました。痩せ細った私は抵抗する気力もありません
でした。でも、不思議とそれまでの人生に満足していたので、口惜しさもなく、
また恐怖も全くなかったただその日を待っているだけでした。

そして、そんなある日、私を吊るしていた4本のロープは切り落とされ、私は崖の
四角い穴から奈落のそこへ落ちてゆきました。
そこは、あの穏やかなグリーン色のゆらめく海の底でした。海の底からは上の方
の四角い穴から番人たちが覗いているのが見えました。
でも、私はとても穏やかで幸せな気分です。その体を離れました〜。
それから、ドンドン上昇し私を覗いている兵士たちを見下ろすところまであがり、
さらに上昇し地球を抜け、安住の地に着きました。

植物のような有機的な建物のようなものの中に座り、不思議な気分です。
そこで、私ジェロの人生を回想してみます。
そうすると、あの3歳の時に地面にず〜〜と何か大きなことを描きつけている
自分が浮かんできました。
私はそこで、大いなるものに尋ねてみます。あれは何なのか？と。。。
大いなるものの雰囲気は温かみのあるやさしさとともに避けたくなるほどの
厳格さを持っていました。
大いなるものは答えました。

『お前はそのために、生み落されたのだ。』と

私には、その描きつけている図の謎を探究する人生が用意されていたのです。
そして、その人生の導きの中であの洞窟の遺跡に導かれ、そこではさらにその図の
謎を解く鍵が用意されていたにも関わらず私はお金儲けに走り、快楽主義に徹し、
チンギスハーンに襲われ吊るされてもその人生の過ちに気づくこともなくその
最後の生き残りをかけたチャンスをもふいにしまい、ついには海底へ突き
落とされ、事尽きるという愚かなことをしてしまっていたのです。

そのことに、気づいたのでした。
ここまで来て、潜在意識を巡る旅は終わり、もとの意識の世界へと戻るために、
あの最初の丘の見える草原に戻ってきました。
草原に咲く花は黄色い花に変わり、あたり一面に咲いていました。
空気はとてもさわやかで、みずみずしく、丘の上の小屋も、壁が白い明るい色に
変わってありました。そして、そのみずみずしい空気を深呼吸しながら現世の
意識に戻ってきました。

以上が私が今日体験してきた、ヒプノセラピーによる意識の旅の内容です。
今私が色彩応用医学を掲げながら、様々な探究の旅を続けていますが、なぜ、
こんなことしてるんだらうって、ず〜〜と思っていたところがあるんですね。。。
それが、今日の潜在意識にまで遡る旅によって、明らかになったような気がします。

10年近く前に過労で倒れるまでは、また同じ過ちを繰り返してしまいかねない
人生の経過でした。過労で倒れた時は本当、海の底深くに突き落とされた気分
で笑うこともできない状態でした。
私は同じ過ちを本当にまたおかしして命を落とすところだったんですね。
でも、今回はチャンスが与えられ、復活が出来て、与えられた命題のことがだんだん
わかるようになってきて、今、なすべきことをなせるようになってきたのだと、
そう感じました。
この今日の体験、どこまでが、どうなのか、わかりません。
でも、とても素敵な、壮大な旅でした。
人生を再認識するのに、本当に良かったです。
Tさん、本当にありがとうございました。(^^♥<(_)_>(^)/~